

日和坂

(ひよりざか)



vol.63
2020.3

地域貢献活動のご紹介

＊地域住民に愛される、信頼される病院をモットーに＊

当院では、地域住民の皆さんとの交流を深めることを目的として、近隣町会での行事参加や出前講座を実施し地域に貢献する活動に取り組んでおります。

<元町町会>

◆毎週（水）10時～介護予防運動指導員が健康教室を実施。その他、ふれあい会、文化祭、敬老会、新年交流会の参加、南部坂花壇花植えや港まつり、餅つき会のお手伝いなどもさせていただいております。

健康教室



ふれあい会
口コモ体操



<谷地頭町会>

◆平成30年6月より毎月第2（金）14時～谷地頭町会で出前講座を開催。その他豆まき会、夏祭り、敬老会では演芸を披露しました。

出前講座



敬老会



<湯の川3丁目町会>

◆令和1年4月に開設しました、湯の川クリニックの近隣町会で2ヶ月に1回手芸教室を開催しています。

手芸教室



町会での出前講座や行事ボランティア等、ご要望がございましたら、お気軽にお問い合わせください！

担当：介護療養病棟 成田

地域リハビリテーション事業の取り組みについて

<目的>

地域の皆様に講話や体操などを通して、フレイル、サルコペニア、認知症などを理解してもらい予防の大切さを伝えたいと思っています。また、自助、互助につなげることができる内容にしたいと思っています。

<特徴>

当院スタッフが町会や自主サークルなどに伺います。ご希望の内容によって担当する職種をご相談いたします。派遣可能な職種は、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、管理栄養士、歯科衛生士などです。



作業療法士が、健康な体を維持し長く今の生活を続けるために必要なお話をしたり、一緒に体を動かしている様子です。主に、フレイル（虚弱）や認知症について理解を深めていただきました。



歯科衛生士が、お口のケア、体操を行った様子です。歯の模型を使って歯磨きの仕方や体操について実際に体験していただきました。



講話内容は、写真で紹介した内容の他にも、糖尿病について／感染症について／生活習慣病と栄養について／食品の上手な選び方／腰痛予防／転倒予防／認知症予防／高齢者の自動車運転／生活の質を維持するための工夫／口の体操／口のケア／聞こえについて／医療・介護保険のイロハなどとなっておりますが、ご相談いただければ他の内容でも対応可能です。

お気軽にご相談ください！

担当：地域包括ケア推進室 野田

アドバンス・ケア・プランニング（ACP）の取り組みについて

皆さんはアドバンス・ケア・プランニング（ACP）についてご存じですか？ 「人生の最終段階における医療・ケアについて、本人が家族等や医療・ケアチームと事前に繰り返し話し合うプロセスのことです。平成30年11月30日、厚生労働省が愛称を「人生会議」と決定しました。当院では、『ACPカンファレンス』と名付け、地域包括ケア病棟中心に平成30年4月より取り組んでおります。

将来の医療及びケアについて ～これからの生き方を考えましょう～

アドバンス・ケア・プランニング Advance Care Planning(ACP)

✦アドバンス・ケア・プランニングとは？

これから受ける医療やケアについて、あなたの希望や思いが反映されるように家族や医療者と話し合って文書に残すことをアドバンス・ケア・プランニングと言います。



Step① あなたの希望や思いについて考えましょう
Step② あなたの健康について学び、考えましょう
Step③ あなたの代わりに意思決定をしてくれる人を選びましょう
Step④ 医療に関するあなたの希望や思いについて伝えましょう
Step⑤ あなたの考えを文書にしましょう

「これからの豊かな人生を目指して考えてみませんか？」

こちらが当院で作成したポスターと案内文書のACPの手引きです。入院時に看護師がこのACPの手引きに沿って説明します。要望のある方には「私のこれからの生き方」にチェックしていただきます。看護師がACPカンファレンスの開催を調整し、カンファレンス実施後はカンファレンス用紙を作成して、ご本人やご家族へお渡ししております。

ACPの手引き

将来の医療及びケアについて ～これからの生き方を考えましょう～

アドバンス・ケア・プランニング Advance Care Planning(ACP)



ACPとは、あなたが将来、自分の考えを伝えられなくなった時に備えて、これから受ける医療やケアについて、あなたの考えをご家族や医療従事者に明らかにして、文書に残す手続のことです。

社会医療法人 高橋病院 表紙

●どんな利点があるのでしょうか？

もしあなたが事故や病気などで自分の考えを伝えられなくなった場合に備えて、あなたに代わって意思を伝達してくれる人や医療従事者にあなたの医療やケアに対する希望や思いを伝える事が出来ます。

●いつから始めるのが良いのでしょうか？

突然の災害や重い病気にかかる前に、家族とACPについて話し合うことが重要です。あなたが受けるかもしれない医療について、自分がどう考えているかを知ってもらっておくことは、将来あなたの代わりに意思決定をしなければならぬ人にとって、混乱や迷いを起こさなくてすむ可能性があります。

●家族や医療従事者は、あなたの希望を知っていますか？

例えば、突然自動車事故で重傷を負い、意識不明で病院の集中治療室に収容される。また、別の例として、認知症のために自分で意思決定する能力がなくなってきた場合など、家族や医療従事者は、あなたの治療や今後の生活についてあなたの希望を知っていますか。

P.2

私のこれからの生き方

将来、自分で自分のことを選択しられなくなった時に備えて、今のあなたの希望や思いを整理しておきましょう。ACPの手引きを参考に、以下の内容にお答えいただきながら、ご家族やあなたのためにより意思決定をしてくれる人、医療者と話し合いを持ちましょう。

Step1 あなたの希望や思いについて考えましょう

あなたの大切にしたいことは何ですか？（いくつ選んでも結構です）

<input type="checkbox"/> 楽しみや喜びにつながる可能性があること	<input type="checkbox"/> 家族や友人と十分に時間を過ごせること
<input type="checkbox"/> 興味を持った医療で過ごせること	<input type="checkbox"/> 人の死に接することを経験できること
<input type="checkbox"/> 人として大切にされること	<input type="checkbox"/> 人生をまっとうしたと思える事
<input type="checkbox"/> 社会や地域で活躍が出来ること	<input type="checkbox"/> 人に感謝で過ごせること
<input type="checkbox"/> 痛みや苦しみが少なくなること	<input type="checkbox"/> 医療費を軽減できること
<input type="checkbox"/> 人に感謝にいらぬこと	<input type="checkbox"/> 納得いくまで十分な治療を受けること
<input type="checkbox"/> 病院に言いやすいこと	<input type="checkbox"/> 大切な人に代わって意思決定すること
<input type="checkbox"/> 人が起こることを詳しく知っておくこと	<input type="checkbox"/> 病気が死を懸念せずに過ごすこと
<input type="checkbox"/> 他人に助けを求めないこと	<input type="checkbox"/> 生き延びることに価値を感じられること
<input type="checkbox"/> 医療に支えられること	<input type="checkbox"/> その他（ ）

Step2 あなたの健康について学び、考えましょう

(1) あなたは今の健康状態について理解できていると思えますか？
 はい いいえ

(2) あなたの健康状態や病気について、どのような経過をたどるかなど、詳しい説明を求めていますか？
 はい いいえ

(3) 受ける治療に関して、希望がありますか？（いくつ選んでも結構です）
 一日でも長く生きられるような治療を受けたい
 痛みや苦しみを、とにかく軽減することを最優先した治療を受けたい
 医療を知らず知らずのうちに十分な医療や治療を受けたい
 医療や苦しみがなく、自分らしい生活を送ることに価値を感じるような治療を受けたい
 できるだけ自然な形で緩和ケアとされるような医療や緩和ケアを受けたい
 その他（ ）

(4) 将来、認知症や他の病気で自分で判断できなくなった時、あなたの希望は、以下のどれですか？（一つ選んでください）
 なるべく意思をくみ取りながら生きてほしい
 家族や友人と十分な時間を共にして生きてほしい
 病院や施設でもよいので、食事やトイレなど最低限自分でできる生活を送りたい
 病院や施設でもよいので、とにかく生き延びたい
 その他（ ）

P.6

ACPは、患者様が「今をどう生きたいのか」を考えるためのものです。今を充実したものにするためにどう備えていくかを考えていただくように心がけています。患者様にとって、ご家族には言いづらいこともあります。私たち医療従事者には、家族では出来ないからこそ言いやすいこともあると意識しています。将来の医療及びケアについて、これからの生き方を考えませんか？

担当：看護部 ニッ森

新型コロナウイルスについて

○ 以下のいずれかに該当する方は、帰国者・接触者相談センターに御相談ください。

- ・ 風邪の症状や37.5度以上の発熱が4日以上続く方
(解熱剤を飲み続けなければならない方も同様です。)
- ・ 強いだるさ(倦怠感)や息苦しさ(呼吸困難)がある方

○ なお、以下のような方は重症化しやすいため、この状態が2日程度続く場合には、帰国者・接触者相談センターに御相談ください。

- ・ 高齢者
- ・ 糖尿病、心不全、呼吸器疾患(COPD等)の基礎疾患がある方や透析を受けている方
- ・ 免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方

		電話番号	開設時間
◆厚生労働省電話相談窓口		電話 0120-565653	9時00分～21時00分
◆北海道保健福祉部健康安全局地域保健課		電話 011-204-5020	24時間
◆市立函館保健所	相談窓口	電話 0138-32-1547	平日 8時45分～20時00分
	帰国者・接触者相談センター	FAX 0138-32-1526	土曜日 8時45分～17時30分

外来診療体制

	月曜		火曜		水曜		木曜		金曜		土曜	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前のみ	
内科(1)	熊坂		高橋		熊坂	(第1週)吉田 (第2週)熊坂 (第3週)若林 (第4週)齋藤 (第5週)小田			阿部		(第1週)熊坂 (第2週)筒井 齋藤 (第3週)志田 (第4週)筒井 齋藤 (第5週)吉田	
内科(2)	阿部	吉田	吉田	齋藤	阿部		熊坂	手塚	筒井	吉田		
内科(3)	筒井	若林	志田	筒井	筒井		齋藤	志田	志田	若林		
整形外科 リハビリテーション科	中央病院 派遣医 (整形のみ)		齊鹿	応相談	齊鹿		応相談	齊鹿	応相談	齊鹿		

★診療科目

内科、循環器内科、消化器内科、内視鏡内科、糖尿病・代謝内科、整形外科、呼吸器内科、リハビリテーション科、呼吸器リハビリテーション科

※整形外科・リハビリテーション科→火・水・木曜午後の外来受診についてはご相談下さい。

★診療受付時間

- ・ 午前 / 8:45～11:30 (月曜の整形外科のみ9:00～11:00)
- ・ 午後 / 1:30～4:30

※外来受診は予約制となっております。

予約時連絡先：0138-23-7221

高橋病院の基本理念

地域住民に愛される、信頼される病院

高橋病院の方針

- 一、生活を支えるリハビリテーション医療を提供します。
- 一、チームワークのとれた魅力ある職場をつくります。
- 一、思いやりとおもてなしの心をもったサービスを提供します。
- 一、地域に根ざした連携文化を育みます。

患者様の権利

- 1 適切な医療とケアを受ける権利
- 2 人格を尊重される権利
- 3 プライバシーを尊重される権利
- 4 医療上の情報、説明を受ける権利
- 5 自己決定の権利
- 6 セカンドオピニオンを求める権利